

## 《企業紹介》

同社は1993年、ベトナム政府が民間資本による銀行設立を解禁した際に誕生した、民間銀行としては最古参の大手商業銀行で、総資産規模は上場銀行中7位(2025年9月末)と国営の4大銀行に次ぐ大手行グループに属する。厳格な融資姿勢と経営の透明性で知られ、2025年9月末時点の貸出に占める不良債権の比率は1.1%と業界最低水準となっている。このような健全な財務状況と高い経営の透明性が、特に外国人投資家に高い評価を受け、外国人保有比率は上限の30%付近となっている。

個人や中小企業向け融資に強みがあり、クレジットカード、バンカアシュアランス(保険商品の窓口販売)、証券サービスなどでも高い競争力を保持している。ベトナムの中産階級の増加に加え、住宅需要の回復、道路整備の進捗に伴う自動車需要の増加など、事業機会の拡大期待が高まっている。

## 《2026年1—3月期業績》

2026年1—3月期の営業収入(対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額)は前年同期比12.5%増の8.9兆VND(ベトナムドン)だった。貸出債権残高が同18.4%増の701.2兆VNDに増加したが、預貸利ザヤの悪化が続き、金利収入は同9.9%増の6.9兆VNDにとどまった。ただし、調達コストの上昇の貸出金利への転嫁が進み、預貸利ザヤの悪化ペースは2025年10—12月期に比べて縮小した模様である。手数料等収入は費用の削減が一段と進み同13.8%増の9,929億VNDとなった。その他収入は有価証券売買益の増加により同35.0%増の9,226億VNDだった。

営業費用が同5.9%増の2.8兆VND、貸倒関連費用が同9.6%増の6,860億VNDと抑制的だったため、税前利益は同16.8%増の5.3兆VNDとなった。純利益は同17.5%増の4.3兆VNDだった。資金需給が逼迫し、調達金利に上昇圧力がかかっているにもかかわらず、貸出金利の上昇は限定的になっている。厳しい競合や政府からの融資金利抑制要請などが影響しているようだ。預貸利ザヤが資金の需給関係を反映せず、改善が見込めない状況に陥っていることを考慮し、同社は貸出債権残高の伸びを抑制的にして、慎重な営業スタンスをとっているとみられる。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年1—3月期		2025年4—6月期		2025年7—9月期		2025年10—12月期		2026年1—3月期	
		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)
営業収入	7,914.6	-3.1	9,292.5	7.4	8,384.7	3.1	8,206.0	-4.1	8,904.7	12.5
(うち金利収入)	6,358.9	-5.4	6,683.8	-6.0	6,769.7	-1.6	7,093.3	0.2	6,989.2	9.9
(うち手数料等収入)	872.3	17.1	584.7	-33.4	795.4	6.5	894.3	2.9	992.9	13.8
(その他収入)	683.5	-2.6	2,024.0	205.3	819.5	61.5	218.5	-64.1	922.6	35.0
営業費用	2,691.9	-2.6	2,736.2	11.0	2,713.9	-7.5	2,782.4	1.6	2,850.5	5.9
貸倒関連費用	626.1	22.2	463.0	-21.3	288.9	-19.3	1,956.6	1,225.0	686.0	9.6
税前利益	4,596.6	-6.0	6,093.3	8.8	5,381.8	11.1	3,467.0	-38.9	5,368.1	16.8
純利益	3,678.3	-5.8	4,881.2	9.2	4,280.6	10.6	2,784.7	-38.7	4,320.4	17.5
貸出債権残高	592,430.8	18.4	627,669.4	15.4	663,032.4	20.9	679,152.6	18.3	701,211.8	18.4
貸倒比率(年換算、%)	0.4	-	0.3	-	0.2	-	1.2	-	0.4	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260508

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

### 《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2025年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。2026年の年初から4月中旬までの同社の株価の動きはVN指数と概ね連動したものとなっていたが、その後はVN指数の上昇に後れを取り、アンダーパフォームに転じている。5月7日終値時点でVN指数が2025年末比7%の上昇となっているのに対し、同社の株価は5%の下落となっている。5月7日終値22,900VNDで計算した時価総額は117.6兆VNDで、これは2025年12月期実績純利益15.6兆VNDに対して8倍となっている。

同社は2026年12月期の税前利益について前期比14.3%増の2兆2,338億VNDを計画している。調達金利の上昇を貸出金利に転嫁できない厳しい環境を考慮して慎重な計画になっているようだ。2026年1-3月期実績の進捗率は24%となっており、厳しい環境にしっかりと対応できているとみることができるだろう。

### 図表2 株価推移



#### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。